

# 持続できる農業経営を目指して家族全員で経営発展

井上馨（鶴岡市）

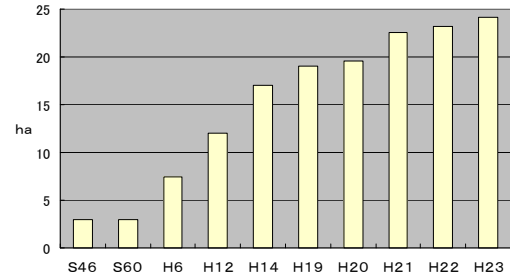
## 1 受賞者の概要

昭和46年に就農し、平成12年にはミニライ  
スセンターを建設して水田3haから30ha  
に規模拡大した。

園芸部門はハウス16棟で、トマトのほか年7  
回転の小松菜栽培に取り組んでいる。

また、様々な勉強会への参加や交流によって経  
営感覚を磨きながら、就業環境の整備や規模拡大、  
販路開拓、消費者交流などに取り組んでいる。

水稲作付面積の推移



## 2 取組の特徴

### (1) 就業環境の整備により、いきいきと農業に従事

後継者の就農をきっかけに家族経営協定を締結し、給料制、休日制を導入するとともに、  
役割分担の明確化を目標に掲げ実践することで、周年農業や規模拡大などの経営改善に結  
びついた。農業者年金も家族全員が加入し、いきいきと農業に従事できる基盤を築いてい  
る。

### (2) こだわりの減農薬・無化学肥料栽培による付加価値づくり

40年のトマト栽培で培った、独自の減農薬・無化学肥料栽培技術を各品目の栽培に応  
用し、また、販売先に栽培方法を公開することにより理解と評価を得て、個人客を600  
人に拡大している。

全国の生産者との交流を通して入手した醗酵鶏糞を用いた土づくりをベースにし、オリ  
ジナルの活性剤を葉面散布することにより、最小限の農薬のみで栽培している。

### (3) 生産者や地域との連携で交流拡大

仲間達とともに、販売と直結した馬鈴薯転作組織や学校給食への食材提供組織などの組  
織活動に取り組みながら、地域農業を活性化させてきた。

レストランシェフや仲卸との交流は、販売先の開拓と同時に異業種とのさらなる連携や  
地域農業の情報発信にも繋がっており、地域と共に経営発展を続けている。

## 3 今後の発展方向

就業環境の更なる改善を目指して、法人化を検討している。

更に、「消費者交流施設」を整  
備し、顧客との一層の交流による  
販路確保・拡大を図りながら、集  
落の住民との交流にも活かして  
いく。「井上農場」の情報を発信  
するとともに地域との密接な関  
係構築を継続し、持続可能な農業  
経営を目指す。



井上農場の商品と氏の家族